

食育月間の取り組み

所属団体・施設名	東大阪市 楠根子育て支援センター	
取り組みの名称	「栄養戦隊食レンジャー」ポスター掲示	
実施時期	6月	
取り組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	目的…いろんな野菜・くだもの・食べ物を知り、興味を持つ 対象…支援センターに来館される親子(就学前乳幼児とその保護者) 実施内容 3色栄養素について、子どもが興味をもち、目で見えてわかりやすいようにポスターを作成し、掲示した。 様子 玄関ドアの横に掲示しているので、目に入りやすく、また戦隊レンジャーを載せていることで興味をもって見る子がたくさんいた。親子で見て楽しみながら話をしたり、3色栄養素を知るきっかけとなっている。	



食育月間の取り組み

所属団体・施設名	東大阪市 楠根子育て支援センター	
取組の名称	野菜と果物 切った断面を見て何かを当てるクイズ	
実施時期	6月1日～6月30日	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	目的…いろんな野菜・くだもの・食べ物を知り、興味を持つ 対象…支援センターに来館される親子(就学前乳幼児とその保護者) 実施内容 身近な野菜や果物の写真を使い、切った断面の写真をめくると何かがわかるボードを作りました。めくってみると、元の野菜、果物の写真とともに、その特徴も書いておき、親子で興味をもって楽しめるようにしました。 様子 設置するとすぐに興味をもって見る子がたくさんいました。「あっ！ブロッコリー、ぼく大好き。」「これわかった！」と言いながら、めくってみる姿があり、保護者と一緒に野菜や果物の特徴を読みながら、楽しんでいました。  	

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	東大阪市立石切子育て支援センター	
取組の名称	あそびや絵本を通して色々な野菜や果物を知ろう！ 咀嚼の効果について知ろう！	
実施時期	6月1日～6月30日	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	目的…遊びを通して色々な野菜や果物・食べ物を知り、興味を持つ 咀嚼についての効果を知る 対象…支援センターに来館される親子(就学前乳幼児とその保護者) (取り組み内容) 絵本の部屋を食育の部屋としてレイアウトし、食べ物に関する絵本をピックアップして展示しました。また簡単なレシピ紹介や噛むとどんないいことがあるのかわかるように咀嚼の効果を8つ取り上げ展示しました。また、おべんとうバスのマグネット遊びを楽しんだり、アンパンマンのお口に野菜や果物を入れる遊びも何回もよく楽しんでいました。	

食育月間の取り組み

所属団体名	東大阪市	
施設等名	市立鴻池子育て支援センター	
取組の名称	食育について	
実施時期	年間を通じて実施	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☒ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	・0歳児を対象に『おしえて！離乳食』の講座を年2回実施。 （実際の保育所離乳食を展示し、栄養士さんに説明してもらっている。） ・『簡単な手作りおやつと朝ごはん』というテーマで年2回講座を開催。実際のおやつを展示し、資料も提供しながら、作り方を教えてもらっている。 （※0歳児親子講座の一つとして、取り組んでいる。） 就学前乳幼児を対象に『給食試食会』を年1回開催予定。 試食をしてもらい、味や量、盛り付けなどを知ってもらう。同時に保育所調理師に、調理方法を教えてもらったり、質問に答えてもらったりもしている。 ・館内のお知らせコーナーに離乳食やおやつ等の資料を置き、自由に取ってもらえるようにしている。 （スタッフや保健師も随時、健康相談や離乳食相談に対応。） ・おでかけ赤ちゃんタイムで、離乳食相談を受けたり、資料を渡したりし、より詳しく聞きたい方は、センターでの健康相談の日を知らせ、来館に繋げている。 ・集合遊びのペープサートや絵本、手遊びなどで、食育を身近に感じてもらえるようにしている。	